

③上手な聴き方 (小学校中学年)

『友達がうれしくなるような話のきき方をしよう』

1. 展開案

過程	学習活動	教師のはたらきかけ	留意すること
わかる	1. 本時のめあてを知る。	<p>○一生懸命話をしているのに、相手が話をよく聴いていなかったらどんな気持ちになりますか。</p> <p>○話の聴き方の違いで、相手が嬉しくなったり、反対に悲しい嫌な気持ちになったりします。皆さんは、どちらがいいですか。</p> <p>○友達が嬉しくなるような聴き方ができると、相手も嬉しいし、自分もその友達のことがよく分かってもっと仲よくなることができます。今日は、友達が嬉しくなるような話の聴き方ができるように練習をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常での子どもたちの話の聴き方を振り返らせることで本時の学習を意識させる。 ・子どもの嬉しい顔と嫌な顔の絵を見せて、聴き方が違うだけで相手が喜んだり嫌な思いをしたりすることに気付かせる。
友だちがうれしくなるような話のきき方のれんしゅうをしよう			
	<p>2. モデリングを見て、話を聴くポイントを知る。</p> <p>【モデリング】</p> <p>I 相手を見ず、相づちをうたないで話をさえぎる</p> <p>II ポイントを使って聴く</p>	<p>○人との関わり方の学習をするときの約束を確認します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ひやかさない ・はずかしがらない ・よいところを見つける </div> <p>○これから、先生が話を「聴く役」になって、2つの話の聴き方をしてみます。どちらの聴き方が、相手が嬉しくなるような聴き方かを考えながら見ましょう。</p> <p>○どちらの聴き方をしてもらおうと、嬉しくなりそうですか。</p> <p>○聴き方のどんなところがよかったと思いますか。</p> <p>○聴き方のポイントをまとめてみましょう。今日、みんなに練習してもらいたい聴き方のポイントは4つあります。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【きき方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいごまできく (人の話をさえぎって自分の話をしない) ・あい手の顔を見てきく ・うなずきながらきく ・あいづちをうちながらきく (ちゃんときいていることが伝わる) </div> <p>○まず、ポイントをみんなで練習してみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に行動できるようにするには、約束を守ってしっかり練習することが大事であることを伝える。 <p style="text-align: center;">※モデリングシナリオ参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手役は事前に頼む。 ・モデリングは、ポイントが分かりやすいように、違いをはっきりさせて大きめに演じる。 ・どんなところがよかったか、気づきを出させながら聴き方のポイントを押さえる ・実際にモデリングの「聴く役」に、気持ちの違いを尋ねて確かめる。 ・それぞれのポイントについて具体的にどうすればいいのかを全体で確認する。特に「うなずき」「あいづち」については、実際に聞いてみたり、「うんうん」「へえー」「なるほど」など相づちの言葉を知らせたりする。

<p>や っ て み る</p>	<p>3. 聴き方のポイントに気をつけながら練習①をする。</p> <p>4. 練習①を振り返り、話し合う。</p> <p>5. 聴き方のポイントに気をつけながら練習②をする。</p> <p>6. 練習②を振り返る。</p>	<p>○それでは、4人グループで練習してみましよう。まず「話す役」「聴く役」と「見守る役」(2人)に分かれます。「見守る役」の人は、「聴く役」の人をよく見て、「聴く役」の人に、できていたポイントやよかったところを教えてください。</p> <p>一人終わるごとにグループでよかったところを教え合ひましよう。それが終わったら、役を交代します。</p> <p>○話す役の人は、先生たちが話したお話をしてください。</p> <p>○1回目の練習の振り返りをましよう。友達が嬉しくなるような聴き方ができましたか。振り返りシートの1回目のところに丸を付けましよう。</p> <p>○グループで上手だった人を紹介して下さい。先生が見つけた「聴き方名人さん」を紹介まします。</p> <p>○2回目の練習で頑張りたいポイントを決めましよう。できるポイントが増えたり、頑張りたいポイントが上手にできるようになったりするといいいですね。</p> <p>○2回目の練習をましよう。</p> <p>○2回目の練習を振り返りましよう。1回目とくらべて、聴き方が上手になっていましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「見守る役」は「聴く役」が聴き方のポイントを使っていたかどうか目に向けさせる。 ・役割の交代の仕方を提示する。 ・スムーズに進めるため1つのグループで実際に練習をさせ、やり方を確認してもよい。 ・「話す役」が何を話すかは児童の実態に応じて、モデリングのシナリオを使ったり、話すテーマを与えたりする。 <p>※ふりかえりシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに記入させる。 ・うなずきやあいづちまでできていた児童を紹介する。「話す役」の児童の表情が笑顔で嬉しそだったなど話す側の様子や気持ちも紹介する。 ・頑張りたいポイントの動きをはっきりと相手に伝えるようにするとよいことを助言する。 ・ポイントを意識して使っている児童をほめる。
<p>ふ り か え る</p>	<p>7. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日学習したことを振り返りましよう。</p> <p>○話の聴き方のポイントを使うとちゃんと相手に話を聞いていることが伝わり、相手が嬉しくなります。また、もっとその人と仲良くなることが出来ます。</p> <p>○この4つのポイントは、普段どんな時に使えそようですか。友達と話すときや先生の話聞くときなど使ってみましよう。</p> <p>○今日からチャレンジ週間にまします。チャレンジ1では、朝の会で聴き方のポイントを使って話を聴いてもらいます。チャレンジ2では、学校や家で聴き方のポイントを使って聴いたらカードに色をぬっていきます。みんなの聴き方が上手になって、にこにこ顔をクラスに増やしてましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の感想を紹介し、ポイントを使って話を聴くことのよさを確認する。 ・聴き方のポイントがどんな場面で使えるか想起させ、生活で実際に使うことを意識させる。 <p>※チャレンジシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ週間を設ける事を知らせ、取り組み方を説明する。スキルの獲得と定着を目指せるよう、意欲を持たせる。

2. モデリングシナリオ

モデリングシナリオ

場面設定：休み時間

2人の子どもが昨日の出来事について話している。

役 割：A・・・話す役

B・・・きく役

モデリングⅠ 無関心な態度できく

(顔を見ないで聴く。話を最後まで聴かずに割り込む。)

A 昨日ね、野球した時、はじめてホームランを打ったんだ。

B へえー。(何かをしながら。顔を見ないで答える。)

A とてもうれしかったんだ。〇〇〇までとんだんだよ。

B そうなんだ。(また、顔を見ないで答える。)

A それでね、みんなびっくりだったよ。

(Aの話を遮るように、話し始める。)

B そうそう、今日 昼休み何して遊ぶ？

モデリングⅡ 上手なきき方のポイントを使って聴く

(相手の顔を見て、うなずきやあいづちを入れながら聴く。)

A 昨日ね、野球した時、はじめてホームランを打ったんだ。

B へえー。(相手の顔を見て)

A とてもうれしかったんだ。〇〇〇までとんだんだよ。

B そうなんだ。(うなずき・相づちをしながら)

A それでね、みんなびっくりだったよ。

(Aの話を最後まで聞いてから話す。)

B すごいね。よかったね！

3. チャレンジ週間 朝の会や帰りの会の取り組み

〈例〉

・「そうだね」ゲーム

2人組になり、「話す役」と「聴く役」に分かれる。「話す役」は、1分間「あれは、〇〇だね。」と指を差していう。実際には無いものでも言ってよい。「聴く役」は指された方を見た後、聴き方のポイントを使いながら「そうだね」と聴く。1分後交代する。

例：「あれは、本ですね。」 「そうだね。」 「あれは、UFOだね。」 「そうだね。」

2日目・3日目はテーマを変えて行う。

「私は〇〇が好きです。」 「私は〇〇が得意です」

[参考文献] 「エンカウンターで学級が変わる」 小学校編 國分康孝 監修

・30秒トーク

2人組になり、「話す役」と「聴く役」に分かれる。話す役は30秒間、テーマについて話す。「聴く役」は聴き方のポイントを使って聴く。

テーマ例：昨日見たテレビ番組 一番欲しいもの 好きなゲームなど

- ・全校朝会の話や朝の会のスピーチの聴き方を振り返る。
- ・「②自己紹介」や「④質問する」と関連させ、自己紹介の聴き方や質問の答えを聴くときの聴き方などを振り返る。

4. きき方の場面のアレンジ例

「③上手な聴き方」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

- ・休み時間友達の話をお聴くとき
- ・授業中友達や先生のお話を聴くとき
- ・社会体育で指導者の話を聴くとき
- ・ゲストティーチャーのお話を聴くとき
- ・全校朝会などで前に出る先生のお話を聴くとき
- ・講演で話を聴くとき